

平成二十二年 帝塚山中学校 一次入学試験問題・国語

(その一)

※答えはすべて解答用紙に書きなさい。 ※選んで答える問題は、記号で答えなさい。  
※特にことわりのないかぎり、句読点やかぎっこはすべて字数にふくみます。

一 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

「個性」を発揮せよと求められるのは、子供に限りません。学者の世界でも同じです。学問の世界でも、やたらに個性個性と言わねばならぬ、論文を書く場合には、必ず英語で書け、と言われる。

学術論文には「材料と方法」という欄があります。論文を書くにあたっては、その言語も、「方法」の基礎のはず。ところが、学者の世界では大概、英語を共通語として、それを使うように求められる。一体どこが個性なのでしょう。

英語で書かなくてはいけないという規則は存在しません。しかし、「英語で書かないと評価されない」と言う人がいます。そもそも誰が評価されないといけない、などと決めたのかもわからないのですが。

今の若い人を見ていて、つくづく可哀想だなと思うのは、がんじがらめの「共通了解」を求められつつも、意味不明の「個性」を求められるという矛盾した境遇にあることです。会社でもどこでも組織に入れば徹底的に「共通了解」を求められるにもかかわらず、口では「個性を発揮しろ」と言われる。どうすりゃいいんだ、と思うのも無理の無い話。

要するに「求められる個性」を発揮しろという矛盾した要求が出されているのです。組織が期待するパターンの「個性」しか必要無いというのは随分おかしい話です。

皮肉なことに、この矛盾した要求の結果として派生してきたのが、「マニュアル人間」の類です。要は、「私は、個性なんかを主張するつもりはございませんが、マニュアルさえいただければ、それに応じて何でもやって見せます」という人種。これは一見、謙虚に見えて、実は随分傲岸不遜な態度なのです。

「自分は本当は他人と違うのですが、あなたがマニュアル一般的ルールをくれれば、いかなるものであるとも、それを私はこなしてみせましょう」という態度なのです。こういう人は、ご自分のことを随分全人的な人間、すなわちあらゆる面でバランスがとれていて、何にでも対応できる人間だと思っているのではないのでしょうか。

4 私自身は、マニュアル通りになんかとてもできないし、読む気もしない。最初からそんな気は無い。しかし、具体的に仕事をやれば、どういう手順がいいのかなんてことは、わかってくるものなのです。

私が昆虫の標本を作る際に、昆虫から交尾器を抜く必要が生じることがある。その場合には、カラカラに乾いた虫の交尾器をいったん柔らかくして元に戻して、体から抜くのが楽です。

本来はとってきたばかりの虫から抜くのが一番いい。そうすれば、跡形もなく綺麗に抜けて、後から元に戻すこともできる。(A) 虫を取ってすぐとすぐに抜くという作業をするわけです。この作業には、家庭で洗濯に使っている漂白剤を使用すればいいのですが、それも経験上、わかってきたことです。

こんな手順のマニュアルなんかどこにも存在していません。(B)、こうしなくては駄目なことはわかっている。(C) 硬くなった虫はこうして柔らかくする、というのも仕事をやっていくうちにわかることなのです。

5 今、問題にしている「個性」を私が持っていたらどうなるか。つまり、私が極めて個性的な意見の持ち主で、それを人に伝えようとしている場合を考えてみる。

その場合、自分にとってのみ最も適切な言葉遣いで人にしゃべりかけると、多分、誰も聞いてないということになる。最も適切だと思ふ言葉が、今なら自然科学について語る場合、英語になる。そうすると、私が自然科学の話をするのは、英語でしゃべるのが当たり前になるはずでしょう。

が、そんなことをしたら、おそらく日本人の誰も聞いてくれません。仮にベルシャ語でしゃべるほうがもっと適切だと思って、講演会でそんなことをやった日には聴衆なんか一人もいなくなって、私を見つけてるのは演台の上ではなくて救急車の担架の上、ということになる。

繰り返しますが、本来、意識というのは共通性を徹底的に追求するものなのです。その共通性を徹底的に確保するために、言語の論理と文化、伝統がある。

人間の脳の特に意識的な部分というのは、個人間の差異を無視して、同じにしよう、同じにしようとする性質を持っている。だから、言語から抽出された論理は、圧倒的な説得性を持つ。論理に反することはできない。

(D)、脳が徹底して共通性を追求していくものだとしたら、本来の「個性」というのはどこにあるか。それは、初めから私

受験番号

平成二十二年 帝塚山中学校 一次入学試験問題・国語

(その二)

にも皆さんにもあるものなのです。

なぜなら、私の皮膚を切り取ってあなたに植えたって絶対にくっつきません。親の皮膚をもらって子供に植えたって駄目です。無理やりやるとすれば、免疫抑制剤を徹底的に使うなんてことをしないと成功しません。

皮膚ひとつとってもこんな具合です。すなわち、「個性」なんていうのは初めから与えられているものであって、それ以上のものでもなければ、それ以下のものでもない。

産みの親とだって、それだけ違うのに、何で安心して、違う人間に決まっていると云えないのか。逆に意識の世界というのは、互いに通じることを中心としている。もともと人間、通じないものを持っているに違いない。だから、アラブとイスラムの考えはわかるけれど、そういう「個」というものを表に出した文化というのは、必ず争いごとが起きている。

こう考えていけば、<sup>7</sup> 若い人への教育現場において、おまえの個性を伸ばせなんて馬鹿なことは言わない方がいい。それよりも親の気持ちがかかるか、友達の気持ちがかかるか、ホームレスの気持ちがかかるかというふうに話を持っていくほうが、余程まともな教育じゃないか。

そこが今の教育は（E）していると思っています。だから、どこが個性なんだ、と私はいつも言う。おまえらの個性なんてラッキョウの皮むきじゃないか、と。

逆に今、若い人で個性を持っている人はどういう人かを考えてみてください。真っ先に浮かぶ名前は、野球の松井秀喜選手やイチロー選手、サッカーの中田英寿選手あたりではないでしょうか。要するに身体が個性的なのです。

<sup>9</sup> 彼らのやっていることは真似できないと誰でも思う。それ以外の個性なんてありません。

彼らの成功の要因には努力が当然ありますが、それ以上に神様というか親から与えられた身体の天分があったわけです。誰か二軍の選手がイチローの十倍練習したからといって、彼に追いつけるというようなものではない。私たちには、（F）しかないのです。

（養老孟司『バカの壁』より）

※ 傲岸不遜…おごり高ぶること。

※ 抽出………引き出すこと。

1 ——— 1 「一体どこが個性的なのでしょうか」とありますが、筆者はどのようなことを言いたいのですか。その説明として最も適するものを、次の中から選んで答えなさい。

ア 他人と異なる個性を求めているのに、論文にあらかじめ決まった形式を求めるのはおかしいということ。

イ 他人と異なる個性を活かして論文を書いているのに、評価されないのならば意味がないということ。

ウ 他人と異なる個性は学問の世界にしかない決めつけ、学者に共通語を使うよう求めるのはおかしいということ。

エ 他人と異なる個性は英語で書いた論文に発揮されるものなのに、まず日本語で書くのは意味がないということ。

2 ——— 2 「共通了解」と同じ意味を表す語句を本文から七字でぬき出して答えなさい。

3 ——— 3 「矛盾」の意味として最も適するものを、次の中から選んで答えなさい。

ア 常識に外れていること。

イ 攻撃的な性格であること。

ウ 当たり前で正しいこと。

エ つじつまのあわないこと。

4 ——— 4 「私自身は、マニュアル通りになんかとてもできないし、読む気もしない」とありますが、そのように筆者が言うのはなぜですか。最も適するものを、次の中から選んで答えなさい。

ア 以前にマニュアルを参考にして痛い失敗をした経験があるから。

イ 経験によって得た知識のほうが有効であるのを知っているから。

ウ 仕事の手順というのはあってないようなものだと思われるから。

エ 最初から本を読んで仕事の手順を理解するのは苦手であるから。

平成二十二年 帝塚山中学校 一次入学試験問題 ・ 国 語

(その三)

5 (A) (B) (C) (D) に入る語として最も適するものを、それぞれ次の中から選んで答えなさい。同じ記号を二度使ってはいけません。

ア だから                      イ では                      ウ しかし                      エ そして

6 ——— 5 「今、問題にしている『個性』とありますが、筆者が「問題にしている『個性』とはどのような個性ですか。本文から七字でぬき出して答えなさい。

7 ——— 6 「言語から抽出された論理は、圧倒的な説得性を持つ」とありますが、それは「論理」に何があるからですか。本文から三字でぬき出して答えなさい。

8 ——— 7 「若い人への教育現場において、おまえの個性を伸ばせなんて馬鹿なこととは言わない方がいい」とありますが、「個性を伸ばす」すことに対して筆者が「馬鹿なこと」と言っているのはなぜですか。五十字以内で答えなさい。

9 (E) に入る語として最も適するものを、次の中から選んで答えなさい。

ア うつ伏せ                      イ 背伸び                      ウ 逆立ち                      エ 居眠り

10 ——— 8 「ラッキョウの皮むき」は比喩表現ですが、

(1) その意味として最も適するものを、次の中から選んで答えなさい。

ア あちこちに散らばること。                      イ まったく同じであること。

ウ くじけることなく、がんばること。                      エ あまり大差のないこと。

(2) 同じ意味を表すことばとして最も適するものを、次の中から選んで答えなさい。

ア 五十歩百歩                      イ 七転び八起き                      ウ 一日一善                      エ 三三五五

11 ——— 9 「彼らのやっていることは真似できないと誰でも思う」とありますが、筆者はそれをなぜだと考えていますか。最も適するものを、次の中から選んで答えなさい。

ア それほど恵まれた体格ではないのに、海外で活躍かつやくをしているから。

イ 生まれつき身体能力が高く、それを活かして活躍かつやくをしているから。

ウ 身体能力の高さよりも、努力を積み重ねて活躍かつやくをしているから。

エ 神様から選ばれた運を持ち、優れたプレーで活躍かつやくをしているから。

12 (F) に入る語句として最も適するものを、次の中から選んで答えなさい。

ア もともと与えられているもの

イ 努力で身につけるもの

ウ 無理やり手に入れるもの

エ 親と共通して持っているもの

13 筆者は本来の「個性」とはどういうものだと考えていますか。本文から十三字でぬき出して答えなさい。

平成二十二年 帝塚山中学校 一次入学試験問題・国語

(その四)

〔二〕 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

次の日、いつもより朝早く登校すると、サッカー部の朝練を終えた吉沢君が一人で教室に戻ってくるのを見つけた。

「吉沢君」

「何？」

「ちょっと、いい？」

「いいけど、何？」

「三分だけ。ちょっと来て」

私は吉沢君を四階に上がる階段まで連れて行った。ここなら（A）誰も通らない。

「どうしたの？」

日頃、話すことがほとんどない私に引っ張られて、吉沢君は困惑していた。

「あのさ……。えっとね」

私は頭の中で、昨日、大浦君と練習した台詞を思い出してみた。えっと、私困っていて、助けてほしいの。吉沢君が頼りなの。一人じゃ無理だから。そうやってごちゃごちゃ考えてたら、<sup>1</sup> なんだか涙が出てきた。

情けないなあ。みんながちゃんと歌ってくれないからってなんなんだろう。そんなことでどうしてこんなに悩まないといけないのだろう。大浦君まで巻き込んで、こんなの（B）だめだ。

「そうだよ……。中原傷ついてるよな」

（C）言葉を発しない私に、吉沢君が言った。

「へ？」

「毎朝、俺、みんなと一緒にぶざけてるけど、中原のこと本当、かわいそうだなあって思ってたんだ」

「……そうなんだ」

「ごめん」

「ううん。いいんだけど、えっと、あのね」

〔2〕 わかってる。俺、協力するよ」

吉沢君はそう言って、私の肩を軽く叩いた。

「俺に相談してくれてありがとう」

「あ、うん」

「他にも男子いるだろう。なのに、中原が俺を選んでくれたって、なんだかちょっと嬉しい」

「ああ、そう？ うん。そうなんだ」

「行こうぜ、教室」

吉沢君は階段を下りはじめた。

「えっと、あの、吉沢君だったら、格好いいし、みんなの人気者だし、だから、きっと助けてくれるって……」

大浦君と練習したことを少しはいかさないとけない。私が慌てて言葉を付け加えると、

〔3〕 わかったから大丈夫だよ」

と、吉沢君は笑った。

増田君と違って、<sup>4</sup> 吉沢君は上手だった。みんなに「ちゃんとやろう」なんてかかったるいことは言わず、「毎日テープ流されちゃうから、俺、この歌覚えちゃったよ。ちょっと、いっぺん歌ってみようかな」とへらへらちゃかしながら、歌いはじめた。

「どうどう、俺の歌？」

「結構、うまいじゃん」



平成二十二年 帝塚山中学校 一次入学試験問題・国語

(その六)

は本当におばあさんの言葉を、ありがたいと思った。

学級委員じゃなかったら、きっと私だってまともに練習しなかった。周りに合わせて適当にやっていたに違いない。 <sup>9</sup> たまたま

学級委員だったから、こんな些細なことを深刻にやってのけただけだ。

もう二度と学級委員にはなりたくない。そう思う。絶対にこんな日々を繰り返したくない。強く思う。それなのに、おばあさんが深々と頭を下げるのが、こんなにも心に入ってくるのは、 <sup>10</sup> あの日が私にあったからだ。

「聞いてくださって、ありがとうございます」

私はおばあさんの手を握り返した。

(瀬尾まいこ『幸福な食卓』より)

※ ポップ…大衆的なさま。

※ 一途…ひとすじ。

※ TPO…時と場所と状況のこと。

※ リアル…真に迫ったさま。

※ ハード…きびしいさま。

※ 丁重…ていねいなさま。

※ 些細…わずかな、取るに足りないこと。

1 (A)(B)(C)(D)に入る語として最も適するものを、それぞれ次の中から選んで答えなさい。同じ記号を二度使ってはけません。

ア なかなか      イ めったに      ウ すんなりと      エ ちっとも

2 1 「なんだか涙が出てきた」とありますが、そのときの「私」の心情を説明したものとして最も適するものを、次の中から選んで答えなさい。

ア クラスの歌練習のことについて、一人で解決できず、まわりの人間を巻き込んでよくよと悩む自分が情けなかったから。

イ 人通りのほとんどないところを選んで吉沢君に話しかけたのに、ちっともことが浮かんでこない自分が情けなかったから。

ウ いつもより朝早く登校してまで吉沢君を待っていたのに、迷惑そうにされて計画通りに進められない自分がだめだと感じたから。

エ ふだん話すことがほとんどない吉沢君の困惑したようすを見て、大浦君と練習した台詞が思い出せない自分がだめだと感じたから。

3 2 「わかってる」とありますが、「吉沢君」は何がわかったというのですか。その説明として最も適するものを、次の中から選んで答えなさい。

ア うまくいかない合唱練習について、自分に協力を求めていること。

イ 中原が自分に好意を抱いてはいるが、口に出せないでいること。

ウ みんなとふざけていた自分を、中原が責めようとしていること。

エ 合唱の練習で困り果てているので、なぐさめてもらいたいこと。

4 3 「わかった」とありますが、この時の「吉沢君」の心情として最も適するものを、次の中から選んで答えなさい。

ア 自分の得意な歌を女子生徒に評価されたことを、嬉しく思っている。

イ 面と向かって人気者といわれたことに對して、誇らしく思っている。

ウ 特定の女子生徒に好意を持たれていることを、照れくさく思っている。

エ 他の男子ではなく自分に相談をしてきてくれて、喜ばしく思っている。

5 4 「吉沢君は上手だった」とありますが、「吉沢君」はどのようなことが上手だったというのですか。本文から五字以内でぬき出して答えなさい。

平成二十二年 帝塚山中学校 一次入学試験問題・国語

(その七)

6 — 5 「そういうところ」とありますが、同じ内容を指す語を、本文から十字以内でぬき出して答えなさい。

7 — 6 「きっと大浦君がいたからだ」とありますが、具体的に「大浦君」は「私」のためにどのようなことをしてくれたのですか。五十字以内で答えなさい。

8 — 7 「つたない」の意味として最も適するものを、次の中から選んで答えなさい。

- ア 一生懸命な                      イ いい加減な                      ウ 下手な                      エ 心配な

9 ① ④ に入る語句として最も適するものを、それぞれ次の中から選んで答えなさい。同じ記号を二度使ってはいけません。

- ア 熱くなった                      イ 面食らった                      ウ ほっとした                      エ 報われた

10 — 8 「もう」はどこにかかりますか。最も適するものを、次の中から選んで答えなさい。

- ア 明日から                      イ みんなの前に                      ウ 立たなくてすむと                      エ 思うと                      オ 嬉しかった

11 — 9 「たまたま学級委員だったから、こんな些細なことを深刻にやってのけた」とありますが、

(1) 「こんな些細なこと」とはどんなことですか。本文から十字でぬき出して答えなさい。

(2) 「学級委員」として「深刻」だったのはなぜですか。その理由を本文から二十字以内でぬき出して答えなさい。

12 — 10 「あの日が私にあったからだ」とありますが、このときの私の心情を説明したものとして最も適するものを、次の中から選んで答えなさい。

- ア 交流会という本番の日があったからこそ、自分たちにもTPOをわきまえたふるまいができることを実感し感動を味わえた。  
 イ たった二日間の即席練習でも、必死に練習したからこそ、涙を流してくれるほどお年寄りの人々を感動させる歌が歌えた。  
 ウ 吉沢君に勇気を出して相談した朝があったからこそ、交流会が成功しクラスをまとめあげた自分の努力に感動できた。  
 エ 学級委員として交流会に向けて苦勞した日々があったからこそ、こうしておばあさんの言葉を本当にありがたいと思えた。

三 1 ～ 10 の — 部のカタカナを漢字に、11 ～ 15 の漢字をひらがなに直しなさい。

- |    |                         |    |                            |
|----|-------------------------|----|----------------------------|
| 1  | 初めて習ったことばの意味をジシヨで調べる。   | 2  | かぜをひいて、体のカンセツがあちこち痛む。      |
| 3  | 大好きな曲の歌詞を全部アンキする。       | 4  | この学校に来た時の最初のインシヨウをたずねる。    |
| 5  | この台風で観測史上初めてのコウウ量を記録した。 | 6  | ホテルのオクガイプールでリゾート気分を味わう。    |
| 7  | カガイシャとなった人の心理をおしはかる。    | 8  | 小さいころの悪事のハッカクをびくびくとおそれる。   |
| 9  | ザンネンなことに、遠足は中止になった。     | 10 | 古くなった木造校舎からテッキンの新校舎に建てかえる。 |
| 11 | こちらの有利になるよう取り計らう。       | 12 | お寺のお堂にこもって静かに念仏を唱える。       |
| 13 | 近所の雑木林がどんどん宅地化されていく。    | 14 | 人に聞かれたくないので、会話を筆談で行う。      |
| 15 | のどかな田園風景にしばし心をなごませる。    |    |                            |